

岐阜県教職員弓道連盟規約

制定 昭和 5 5 (1980) 年 5 月 8 日

改正 平成 4 (1992) 年 7 月 5 日

平成 7 (1995) 年 7 月 2 日

平成 1 4 (2002) 年 7 月 1 日

(名称)

第 1 条 本連盟は、岐阜県教職員弓道連盟と称する。

(目的)

第 2 条 本連盟は、県下の教職員相互の連帯性を深め、あわせて弓道界の発展と青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第 3 条 本連盟は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 弓道の研究会および講習会の開催
- 2 全日本教職員弓道選手権大会県予選大会の開催
- 3 全日本教職員弓道選手権大会への選手派遣
- 4 全日本教職員弓道連盟・岐阜県弓道連盟・岐阜県高体連弓道専門部の行う各種事業への協力
- 5 会員名簿の整理発行
- 6 その他目的達成に必要な事項

(会員)

第 4 条 本連盟は、岐阜県内に居住または勤務する教職員（退職者を含む）の弓道愛好者をもって組織する。

- 1 教職員とは、保育園・保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特殊教育学校・高等専門学校・短期大学・大学・教育委員会に勤務する教職員および事務職員をいう。
- 3 会員は、総会での議決権および本連盟行事への参加権を有する。
- 4 本連盟に加入しようとする者は、会費をそえて理事長に申し出るものとする。

(組織)

第 5 条 本連盟は、全日本教職員弓道連盟に加盟する。

(役員)

第 6 条 本連盟は、次の役員を置く。

会長 1 名、理事長 1 名、理事 若干名、監事 若干名

第 7 条 役員は、総会において選出する。

第 8 条 会長は、本連盟を代表し、会務を統轄する。

- 2 理事長は、理事とともに本連盟の会務を処理する。
- 3 監事は、会務および会計を監査する。

第9条 役員の任期は2年とする。ただし重任を妨げない。また、欠員によって補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第10条 本連盟に顧問を置くことができる。顧問は、総会の同意を得て会長が委嘱する。

(会議)

第11条 定時総会は、全日本教職員弓道選手権大会岐阜県予選大会の当日に開催する。

2 臨時総会・理事会は、必要に応じ会長が召集する。

3 会議の議決は、出席者の過半数で決する。

第12条 定時総会においては、次の事項を審議する。

- | | |
|------------|---------|
| 1 予算および決算 | 2 事業計画 |
| 3 役員の選任 | 4 規約の改正 |
| 5 その他必要な事項 | |

(経理)

第13条 本連盟の経費は、会費、寄付金、補助金およびその他の収入をもって充てる。

第14条 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(細則)

第15条 本規約を施行するについて必要な事項は、理事会において定める。

付則1 この規約は平成14年 月 日から実施する。

付則2 本連盟の会費は、年額1000円とする。会費は、総会当日までに納入しなければならない。

申し合わせ事項 改正案

1993. 7

平成 7 (1995) 年 7 月 2 日

平成14年 月 日

~~全日本教職員弓道選手権大会県予選大会の表彰は、男女別3位まで~~

全日本教職員弓道選手権大会への選手派遣

選手選考 団体 予選成績上位から3名ずつを団体とし、順にAチーム、Bチーム、Cチームとする（エントリー可能チーム数まで）

ただし、派遣辞退者がある場合は繰り上げとする

個人 希望者はすべてエントリーする、

予選大会不参加者も、**会員は個人戦に**~~は~~エントリーできる

~~派遣費用 Aチームの選手には、高校弓道部顧問の場合各自5000円を、その他の場合は各自10000円を激励費として支給する。~~

~~Aチーム以外（個人を含む）の選手には、全国大会激励費予算（約7万円）からAチーム分を支出した残金より均等に支給する、ただし一人5000円以内とする。全国大会開催地が遠隔地の場合は、協議して激励費を増額することができる。~~

~~上記以外は、学校負担および自己負担。~~

~~全国大会激励費予算の残金は、特別会計として積み立てる。~~

派遣費用 ・Aチームの選手には、各自10000円を激励費として支給する。

・Aチーム以外（個人を含む）の選手には、一人5000円を支給する。

・全国大会開催地が遠隔地の場合は、協議してAチームの激励費を増額することができる。

・上記以外は、自己負担。